

# 2012年3月期第3四半期 決算説明会

2012年1月31日

株式会社トプコン

取締役社長 内田憲男

# はじめに

2011年6月に社長就任以来、事業構造改革の「Reform and Enhancement」(＝改革と強化)を旗印として当社の今後の利益ある持続的成長のための下地を築くべく、当社が進むべき戦略的方向性を分析・検討してまいりました。

株主を含むステークホルダー共通の利益に資する経営を全うし、企業価値の最大化をはかるための今後の戦略の具体的な方向性を示す第一歩となる施策についてお話させていただきます。

# CONTENTS

## 2012年3月期第3四半期 決算説明会

**I 第3四半期決算報告及び通期業績見込**

**II 希望退職者募集結果報告**

**III 事業方針の変更**

# 2012年3月期第3四半期決算 及び 通期業績見込

# 2012年3月期第3四半期決算及び通期業績見込

(単位:百万円)

[連 結]		2011年3月期		2012年3月期			
		第3四半期 累 計	通 期	第3四半期 累 計		通 期	
		実績	実績	実績	前年同期比 (%)	見込	前年度比 (%)
売上高		70,703	102,470	68,877	97.4%	97,000	94.7%
営業利益		△2,119	1,799	△1,320	-%	1,800	100.1%
経常利益		△3,421	608	△2,828	-%	0	-%
特別損益		△441	△621	△4,406	-%	△5,400	-%
当期(四半期)純利益		△3,940	△1,288	△5,877	-%	△5,000	-%
ROE			△3.3%			△15.1%	
配当		2円	4円	2円		4円	
為 替 換算レート (期中平均)	US\$	86.86円	85.82円	79.17円		78.21円	
	EUR	113.49円	113.56円	111.32円		108.71円	

\* 為替レートは1月以降75円/ドル、100円/ユーロを前提としております

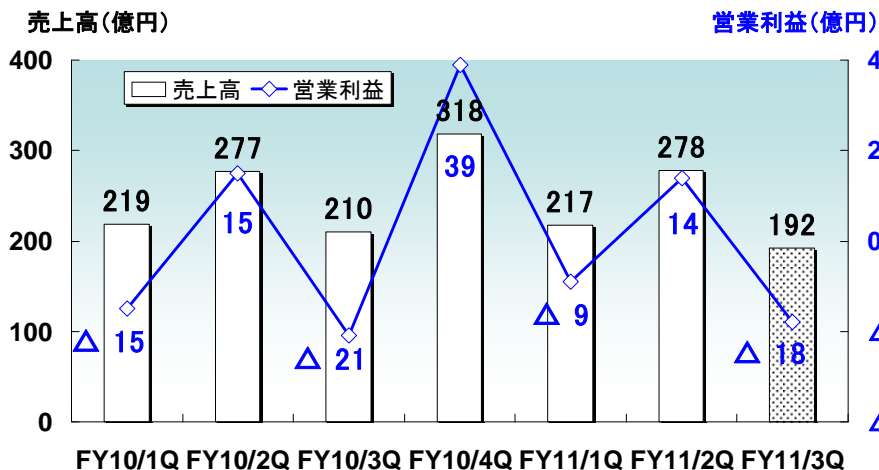
# 2012年3月期第3四半期決算及び通期業績見込 (セグメント別)

(単位:百万円)

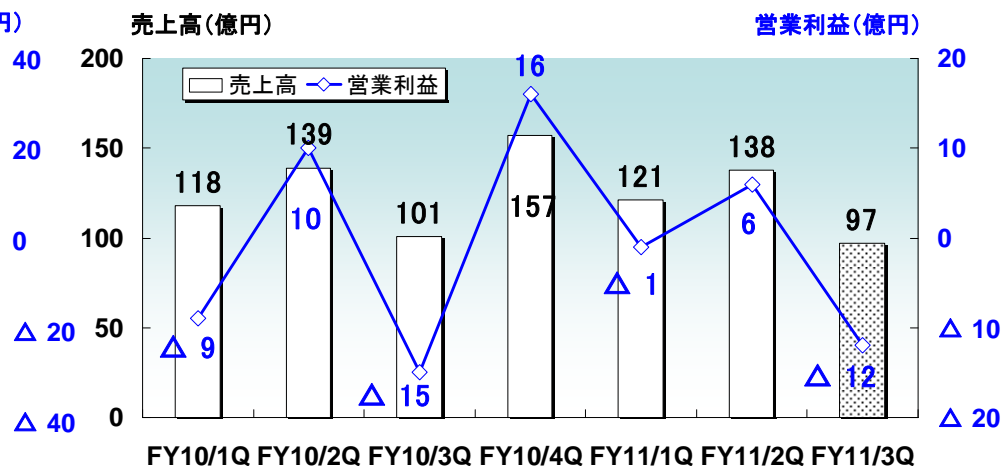
[連 結]		2011年3月期		2012年3月期			
		第3四半期 累 計	通期	第3四半期 累 計		通期	
		実績	実績	実績	前 年 同期比 (%)	見込	前年度比 (%)
売上高	ポジショニング	35,897	51,559	35,773	99.7%	51,000	98.9%
	アイケア	22,055	30,946	22,811	103.4%	32,000	103.4%
	ファインテック	12,751	19,946	10,292	80.7%	14,000	70.2%
	合計	70,703	102,470	68,877	97.4%	97,000	94.7%
営業利益	ポジショニング	△1,489	130	△713	-%	1,300	- %
	アイケア	△569	307	299	-%	1,700	553.7%
	ファインテック	△60	1,362	△906	-%	△1,200	- %
	合計	△2,119	1,799	△1,320	-%	1,800	100.1%

# 四半期別業績推移

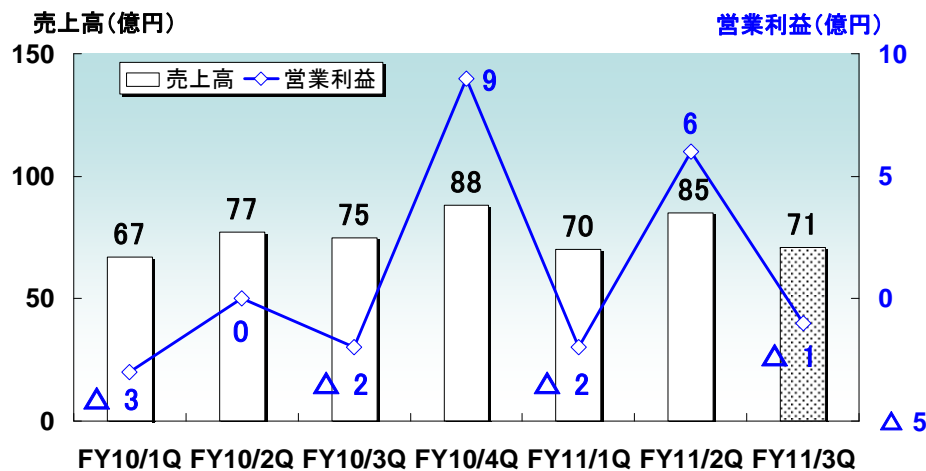
## 1. 全社



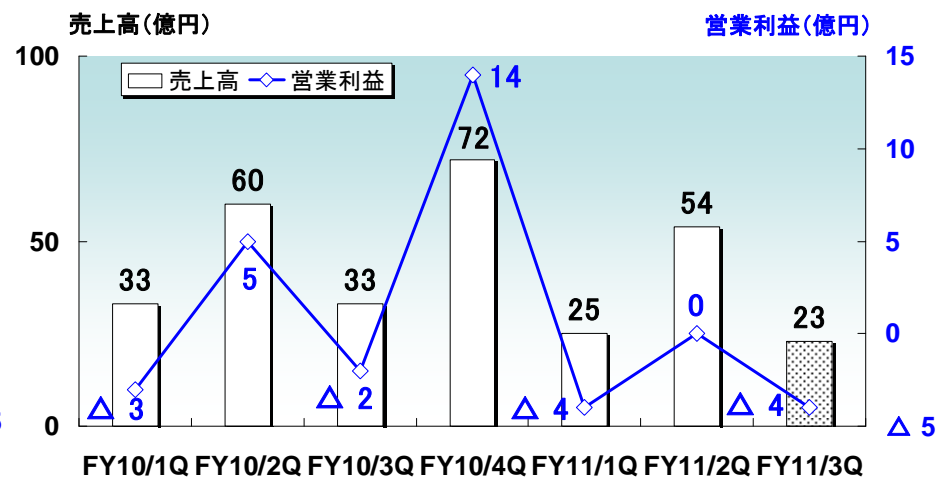
## 2. ポジショニング



## 3. アイケア



## 4. ファインテック



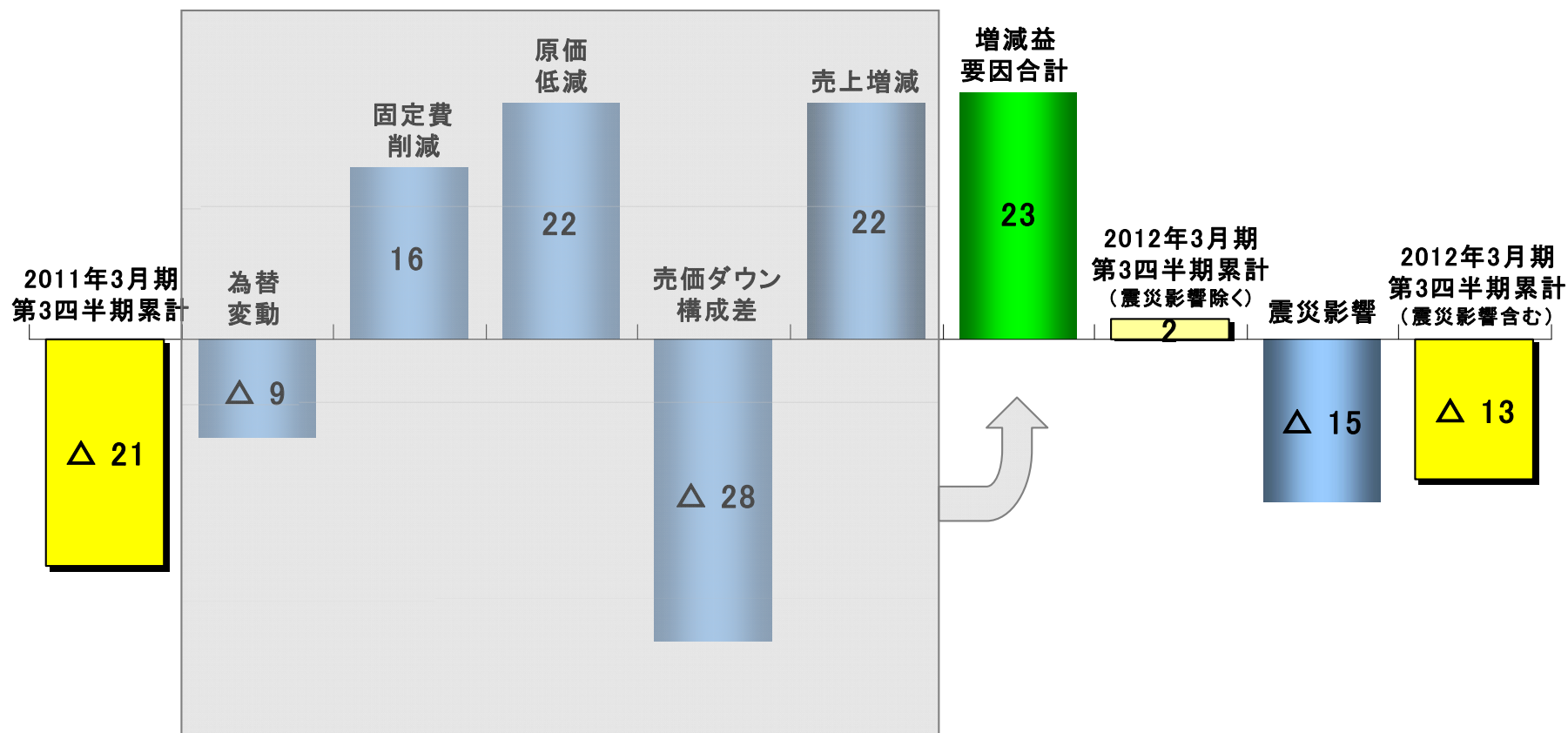
# 「営業利益」増減益要因分析(前年同期比)

[連結]

( 2011年3月期 第3四半期累計 → 2012年3月期 第3四半期累計 )

(符号は損益ベース)

(単位:億円)



# 事業構造改革の進捗状況、見込

## 2011年度の計画と見込

### 1 固定費削減、組織の効率向上

- グループ内人員配置の適正化
- 業務プロセス改革の推進

期初計画

3Q累計実績

通期見込

11億円

16億円

20億円

### 2 原価低減

- VA/CD活動の強化(海外調達拡大)
- 直間比率改善(間接人員削減)

期初計画

3Q累計実績

通期見込

40億円

22億円

40億円

★固定費削減 + 原価低減の合計

60億円

# 特別損益内訳（第3四半期累計期間）

## 1. 主な特別利益

■ 関係会社株式売却益

604百万円

## 2. 主な特別損失

■ 特別退職金

△699百万円

■ 事業撤退損失

△4,189百万円

■ 関係会社清算損失

△69百万円

■ 投資有価証券評価損

△53百万円

★ 特別損益合計

△4,406百万円

# 事業部門別施策進捗状況

## 1. 全体

### 第3四半期までの状況

- 新興国に陰り、欧州は依然為替が足かせ、米国は為替の影響あるも緩やかに回復

### 第4四半期の注力事項

- 新製品投入、事業強化推進、追加施策実施により計画達成・収益力向上を目指す

## 2. ポジショニング

### 第3四半期までの状況

- 円高の影響に加え、金融不安・政情不安の影響で減速傾向拡大
- 日本・北米は市場の活性化でIT施工関連を中心に需要増

### 第4四半期の注力事項

- 新製品の投入で市場シェア拡大と収益力強化、統合シナジーの最大化
- 新興国市場での拡販と、国内復興需要の具現化

# 事業部門別施策進捗状況

## 3. アイケア

### 第3四半期までの状況

- 欧州は財政不安の影響あるも堅調、国内・米州は景気低迷により伸び悩み
- 新興国は先進国の景気影響を受けているものの堅調

### 第4四半期の注力事項

- OCTをはじめとした眼底イメージング機器の販売促進
- 治療器分野販売促進

## 4. ファインテック

### 第3四半期までの状況

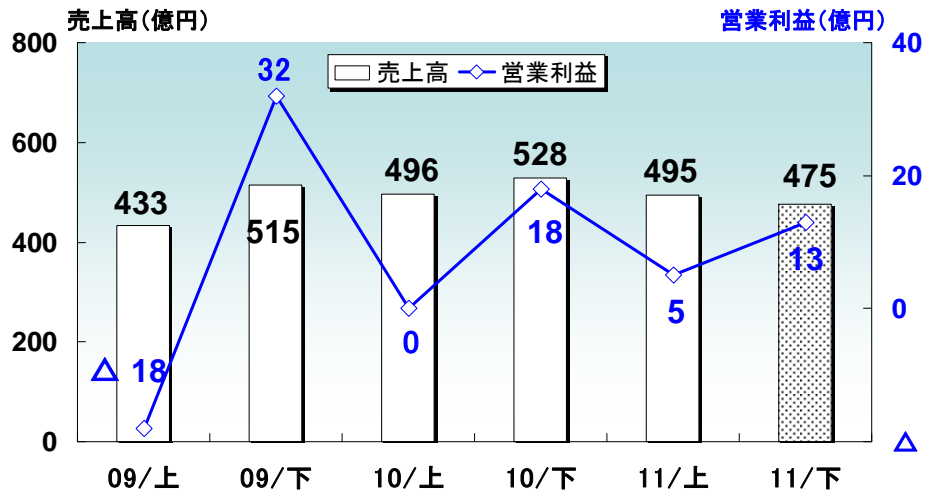
- 半導体、タッチパネル市場の低迷により売上・利益は大幅減

### 第4四半期の注力事項

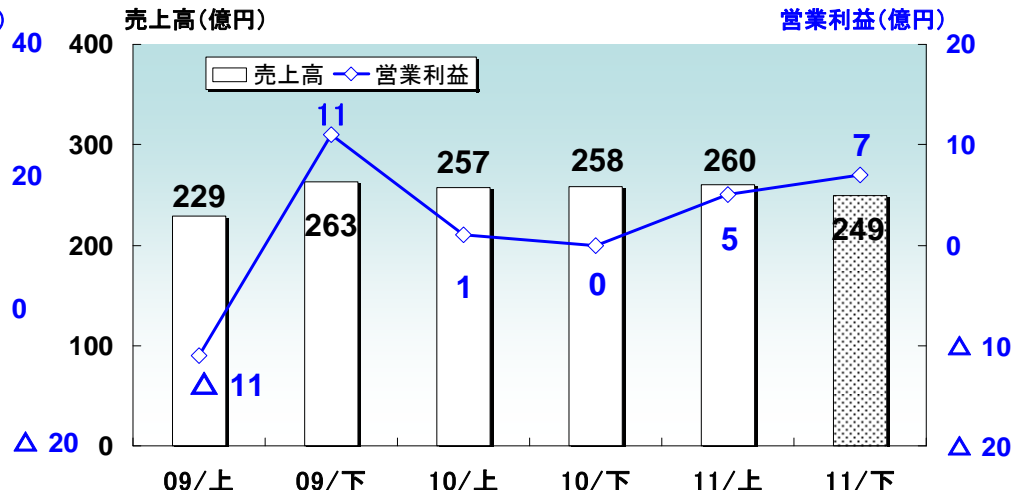
- 事業再編により利益体質に改善

# 半期別業績推移

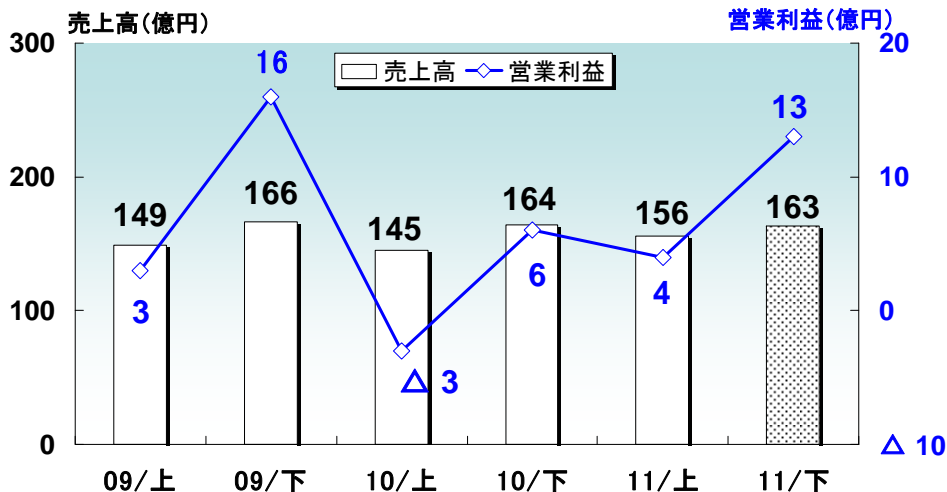
## 1. 全社



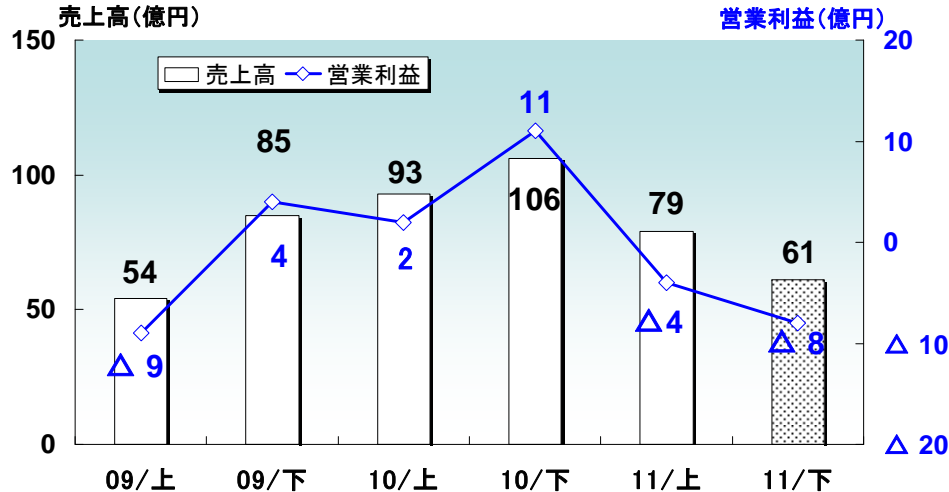
## 2. ポジショニング



## 3. アイケア



## 4. ファインテック



# 「営業利益」増減益要因分析(前年度比)

[連結]

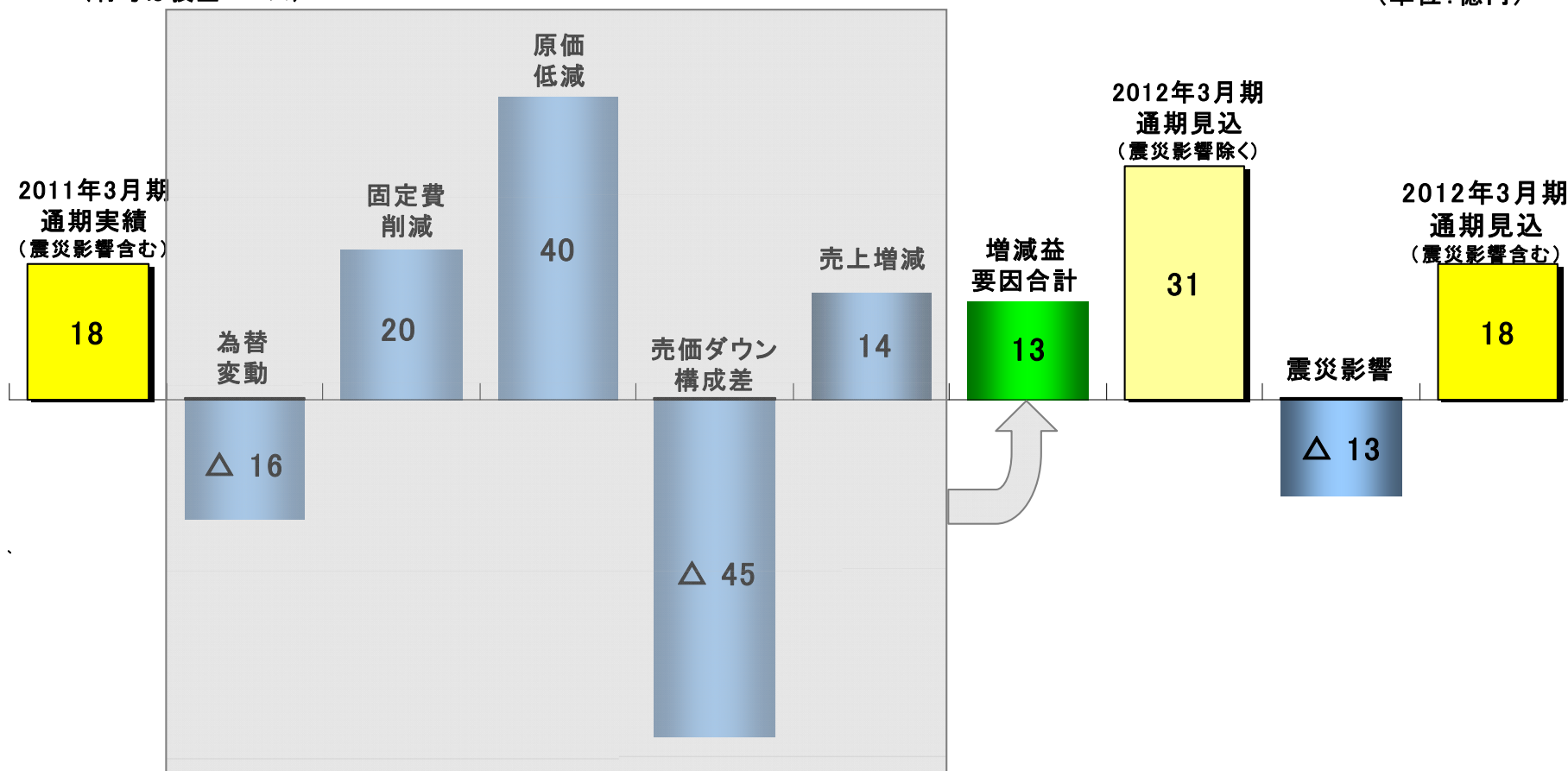
2011年3月期  
通期実績



2012年3月期  
通期見込

(符号は損益ベース)

(単位:億円)



# 希望退職者募集 結果報告

# 希望退職者の募集

## 結果報告

### 1. 募集対象者／募集期間

- 対象：当社在籍の満40歳以上の社員（2012年1月1日時点）
- 募集期間：2011年12月5日～12月27日

### 2. 削減人数

- 合計人数：126名

### 3. 特別損失計上費用

- 特別退職金：7億円

### 4. 次年度以降への年間効果額

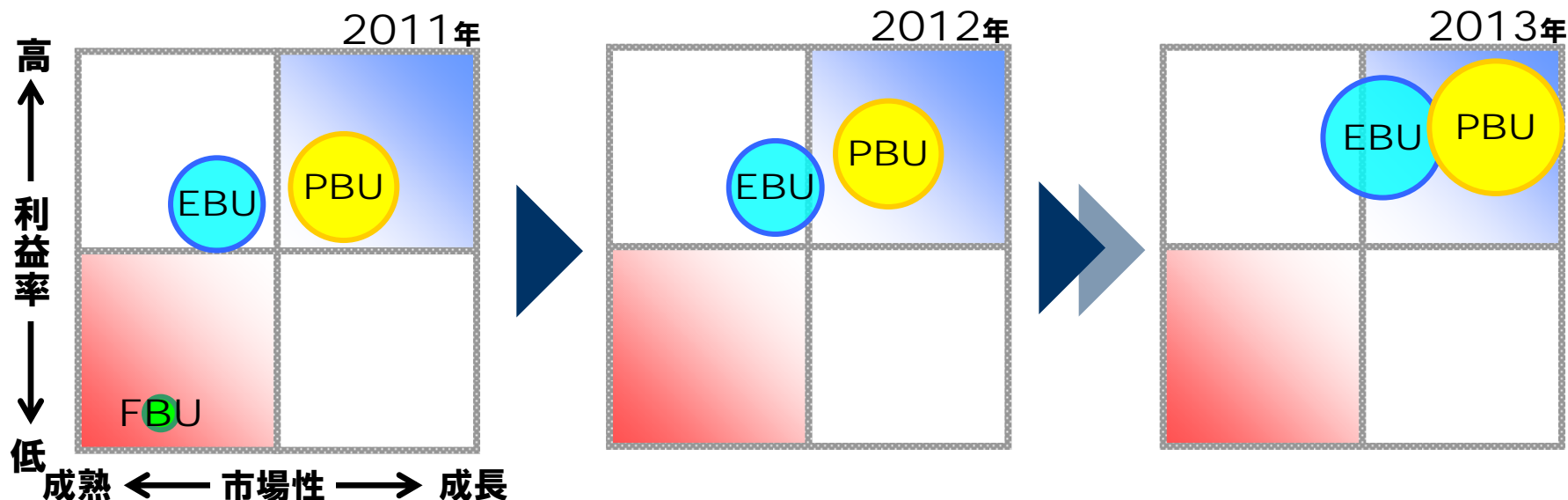
- 効果額：12億円

# 事業方針の変更

# 再編主旨

投下経営資源に対する効率と、成長性の高いPBU・EBUに経営資源を集中するためFBUの事業規模を縮小

## 事業ポートフォリオ



## FBUの事業規模縮小

人員削減の実施  
削減規模: 150名(連結)

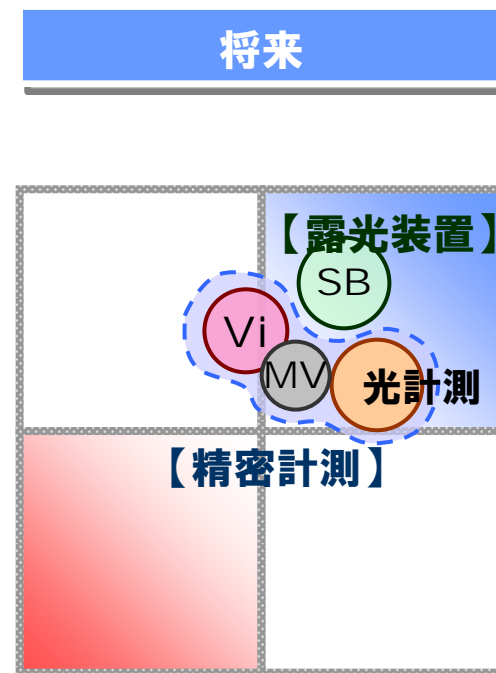
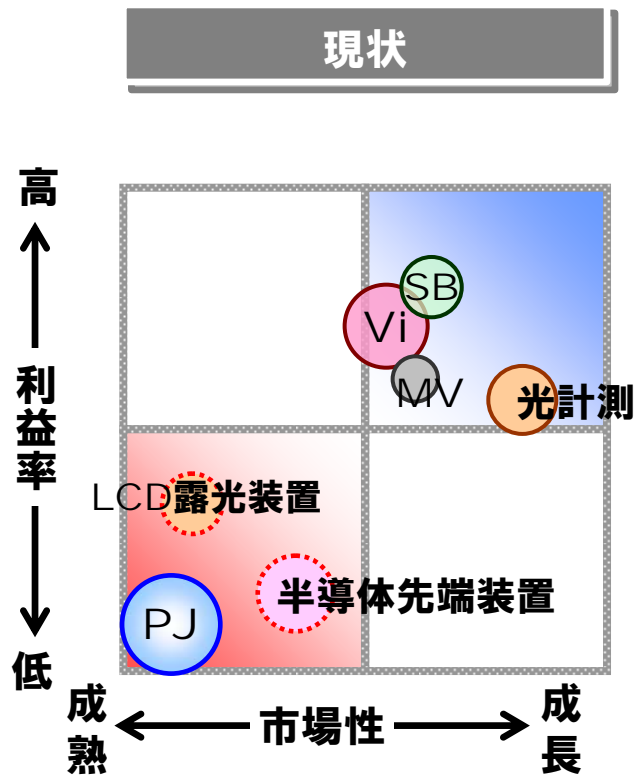
社内にコア技術・差別化技術を持ち、  
市場の将来性が高い事業のみに特化  
20カテゴリー ⇒ 4カテゴリー

ファインテックビジネスユニットを廃止し  
トプコンテクノハウス(100%子会社)に事業を移管  
4月1日から新体制にて運営開始

# 4カテゴリー



# 製品ポートフォリオ

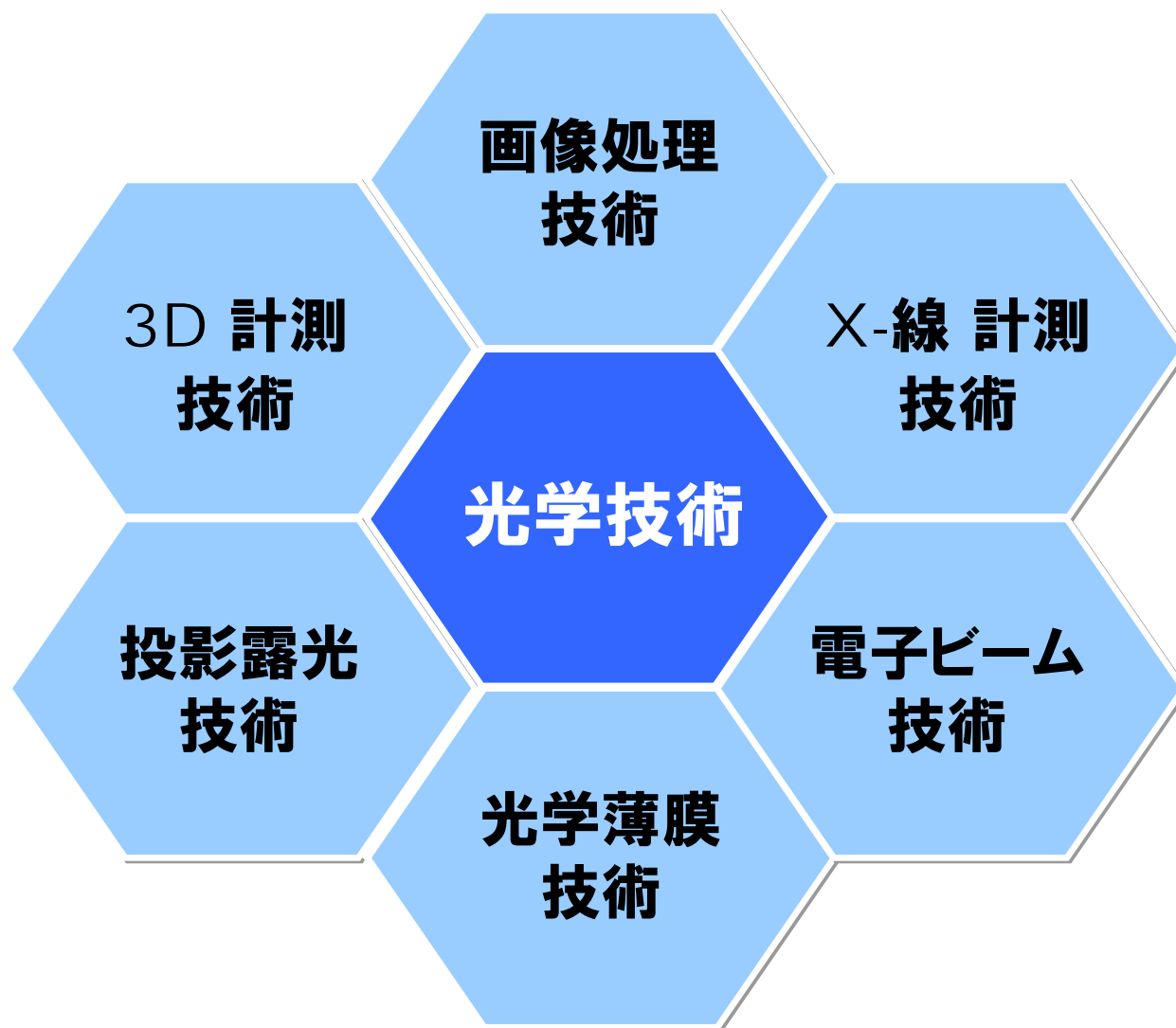


- \*Vi : エコデバイス検査装置
- \*SB : サブストレート投影露光装置
- \*MV : 複合型電子顕微鏡

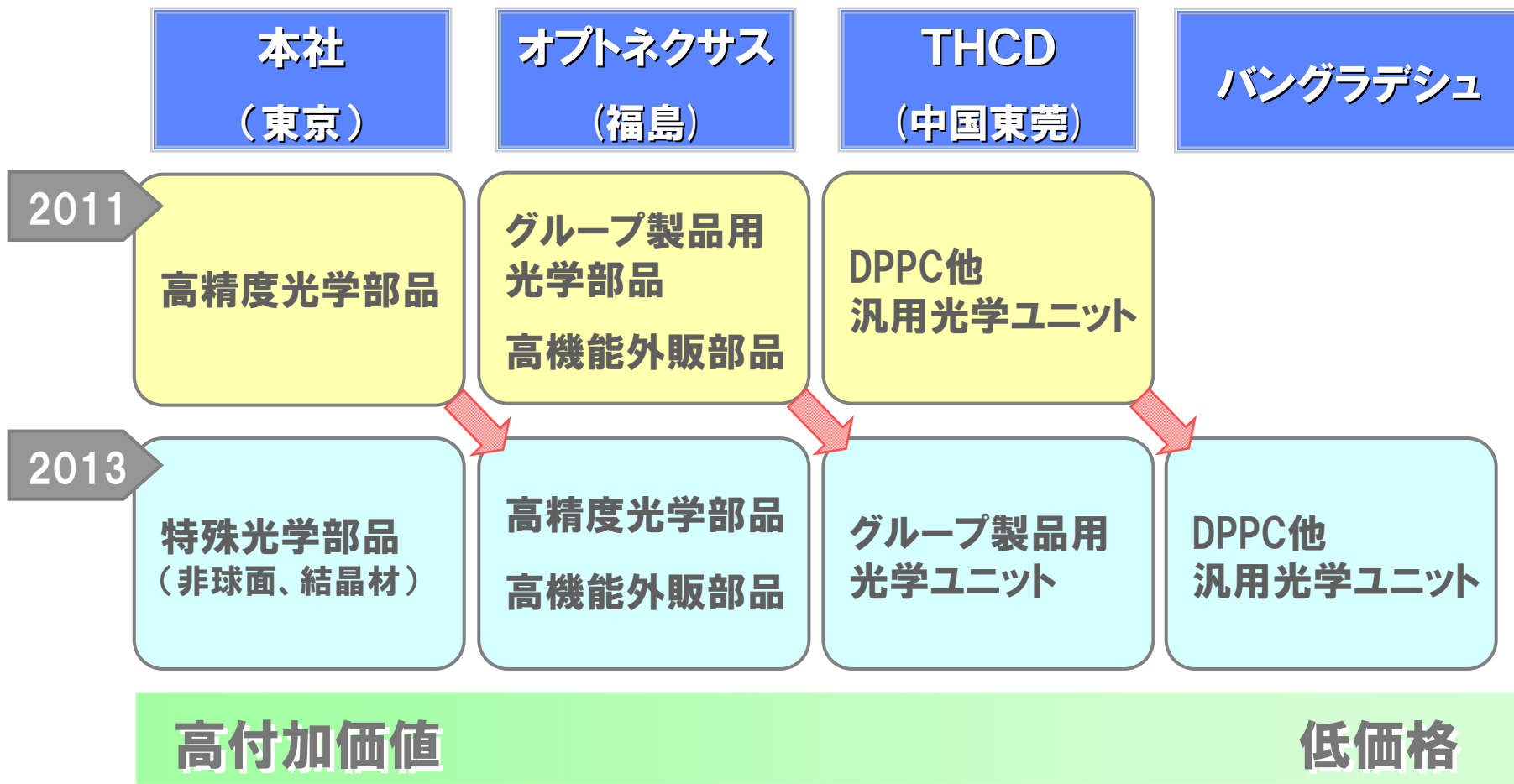
# 事業方針変更に伴う影響

	2011年度 (見込)	2012年度 (計画)	差異
連結売上高	140億円	63億円	△77億円
連結営業利益	△12億円	2億円	14億円

# FBU保有のコア技術の有効活用



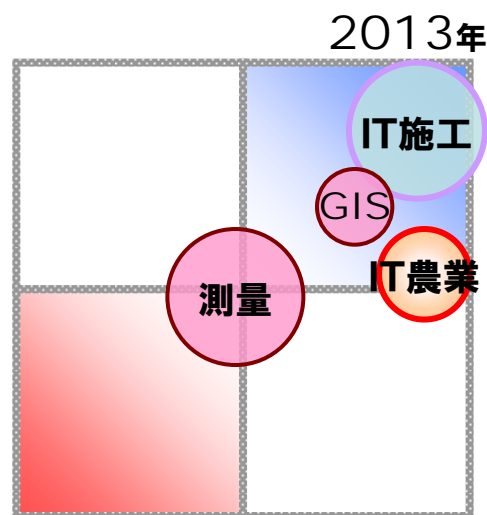
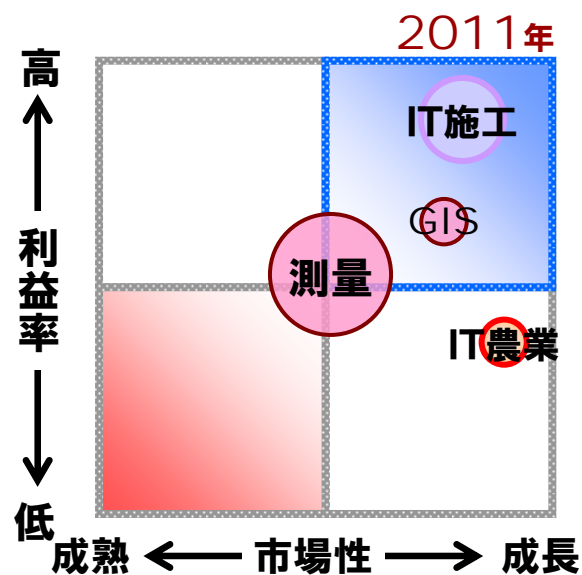
# 光学部品生産拠点計画(モノづくり:コア部品)



1. グローバルローテーションによるコスト競争力の強化
2. 国内生産拠点のコア技術確保・レベルアップ(技能と技術のマッチング)

# 経営資源を高成長・高付加価値分野へ

PBU

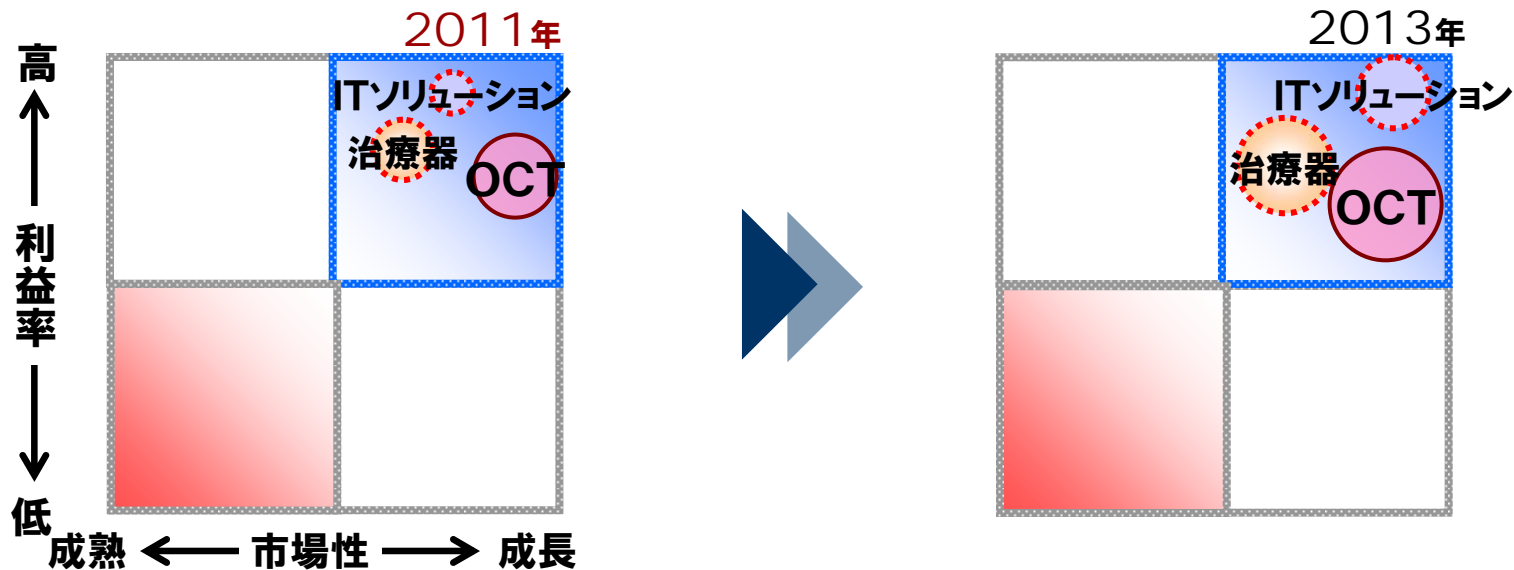


## 主要戦略

- ・測量分野:競争激化の見込。2013年はTS-Shield製品の展開とコストダウン機の推進で売上増
- ・IT施工:成長産業。技術の融合を図った新製品で進展、コア商品として市場占有率を向上
- ・IT農業:収穫率向上を促す商品を投入。売上3本柱のコアビジネスに育成
- ・GIS:移動体、計測は今後伸長させるコア技術の融合。TM-1商品として確実に市場でのシェア向上を図る

# 経営資源を高成長・高付加価値分野へ

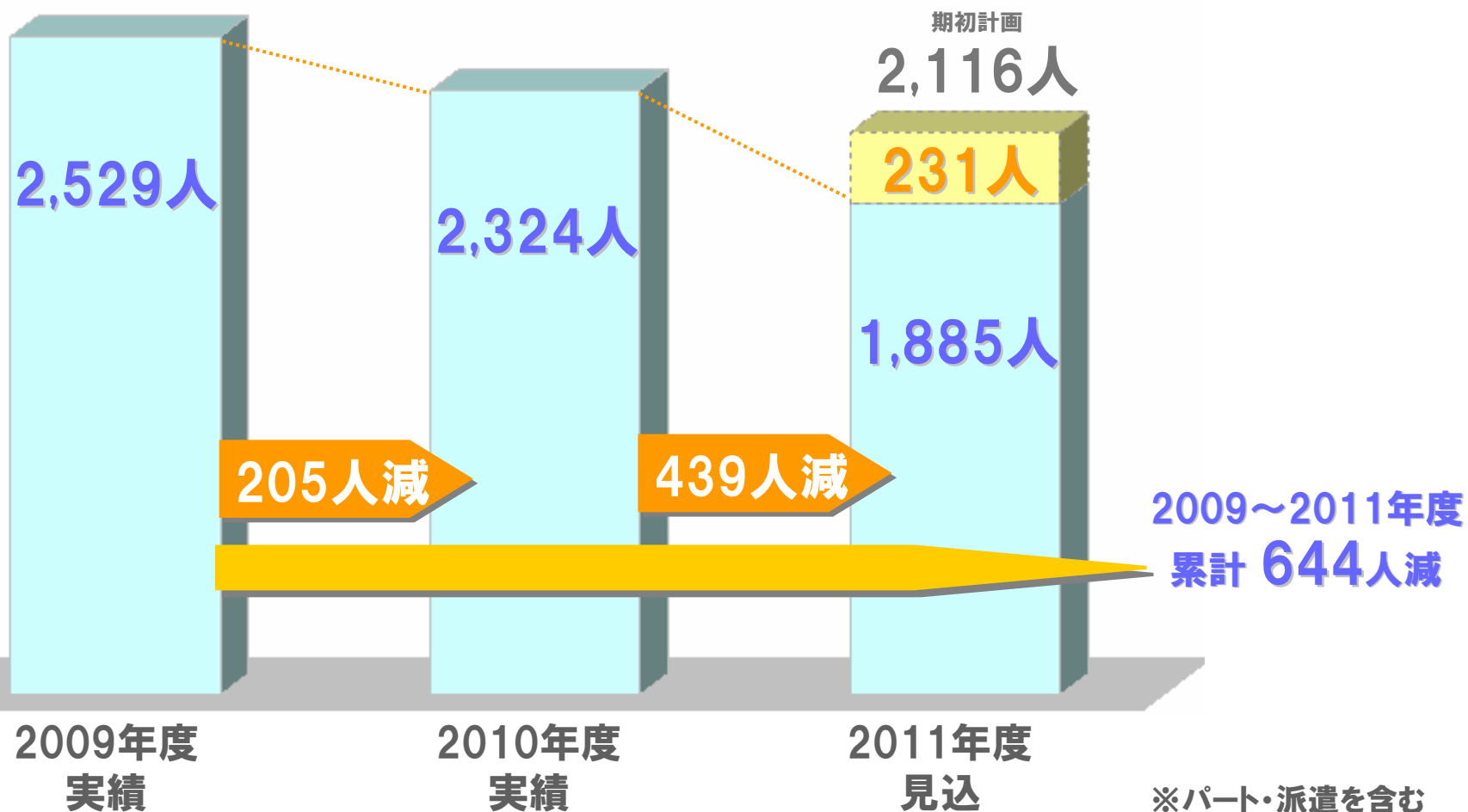
EBU



## 主要戦略

- ・OCTラインアップ拡充: 先端研究機関向けから普及型  
(開業医、オプトメトリスト向け)まで、幅広く網羅
- ・網膜パターンレーザ機器の販売拡大
- ・ITシステム商品強化: クラウドコンピューティング・3D表示技術
- ・屈折検眼装置利益確保: 上位モデル高機能化、下位モデル中国生産

# 国内連結人員数の推移



# 当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。  
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

## お問い合わせ先

株式会社トプコン 経理グループ 広報・IR部

TEL : 03-3558-2532

E-mail: [investor\\_info@topcon.co.jp](mailto:investor_info@topcon.co.jp)

URL : <http://www.topcon.co.jp>